



日本アカデミック・アドバイジング協会 ニューズレター

No. 5 2024年3月31日発行

日本アカデミック・アドバイジング協会

(Japan Association for Academic Advising: 通称 JAAA)

事務局：〒615-8558 京都府京都市右京区西院笠目町6 京都外国語大学 岸岡研究室

Email : info@academic-advising.jp、URL : https://academic-advising.jp/

<ニューズレター目次>

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1) 2024 (令和6) 年度ご挨拶 | 4) 研修部会実施報告 |
| 2) 第3回年次大会実施報告 | 5) アカデミック・アドバイジング・デスク紹介 |
| 3) 第2回定期総会議事録 | 6) お知らせ |

<< 2024 (令和6) 年度ご挨拶 >>

日本アカデミック・アドバイジング協会
会長 清水 栄子(追手門学院大学)

本協会の設立から丸3年を迎え、本ニューズレターはNo.5を数えます。

先日所属大学では、在学生の企画・運営による入学前教育「先輩プログラム」が実施されました。実に4年ぶりの対面開催でした。コロナ禍でのオンライン開催の経験も踏まえ、新たに工夫を凝らしながら当日を迎えた先輩学生。その姿にポストコロナにおける支援の在り方を見たように思います。

さて、2023年度の協会活動を振り返ってみます。会員間の交流促進を目的としたサロンを2回、また非会員も参加対象とする研修会をオンラインで2回、対面で1回の計3回開催しました。8月には「Student Successに向けたアカデミック・アドバイジングの多様なアプローチ」をテーマとして年次大会が開催されました。また、『アカデミック・アドバイジング研究』第2号が発刊されます。広報、研修、年次大会につきましては、新たな委員として手を挙げてくださった会員にも加わっていただき、企画・運営が行われてきました。会員のみなさまには本協会の運営にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

2024年度の協会活動について今後各部会から発信があると思います。

私からは以下の2点についてお知らせします。その一つは役員選挙についてです。5月中旬をめぐりに実施する予定で準備を進めております。新役員候補が決定し、総会で会員のみなさまの承認を得て、新体制がスタートする予定です。

もう一つは年次大会についてです。今年は8月31日(土)に関東地区において対面実施の予定です。場所等の詳細が決まり次第、メールでお知らせします。なお、本年も年次大会運営委員について公募を行います。皆さまには年次大会の企画・運営に携わっていただきますようお願いいたします。

今年度も引き続き会員のみなさまに有益な情報や能力開発の機会の提供に努めていきたいと考えております。今後とも協会活動へのご参加・ご協力をよろしく申し上げます。

<< 日本アカデミック・アドバイジング協会 第3回年次大会実施報告 >>

JAAA第3回年次大会 (2023年)
大会実行委員長 岸岡 洋介 (京都外国語大学)

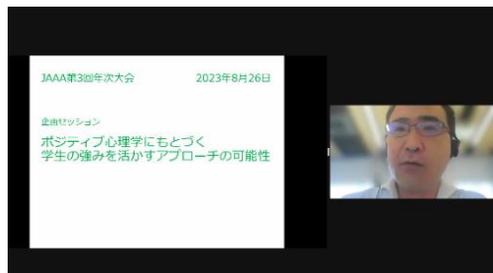
2023年8月26日(土)に開催した「2023年度第3回年次大会」は会員内外より教員、職員合わせて47名にご参加いただきました。今年度のテーマは“Student Successに向けたアカデミック・アドバイジングの多様なアプローチ”でした。「学生自身による将来の目的・目標の決定とその達成に向けて、担当者が途中段階のアセスメントを行いながら学生個人のニーズに沿った支援(協会HP参照)」であるアカデミック・アドバイジングの担い手は専門職や教員だけではなく、学生生活や就職、学修支援など多様な現場に携わる職員など幅広く存在します(担い手を総称して、アドバイザーとします)。また、学生への対応についても対面面談、オンライン面談、SNSを利用した情報発信など学生との接触手段もさまざまであれば、実際のコミュニケーションの取り方についても多様なアプローチが考えられます。そこで本大会は、大会全体をとおして“アドバイザーの能力開発”を目指し、6件の自由研究発表、企画セッション、3つのテーマ別ワークショップを実施しました。



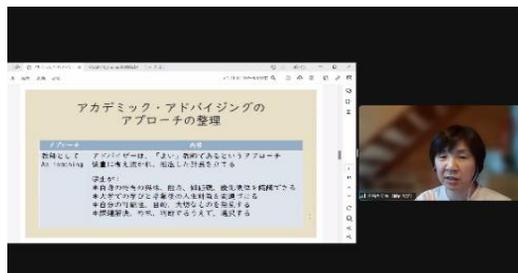
「自由研究発表 山田会員」

自由研究発表では、「Student Success をどのように捉え、どのように関与するか—学習支援専門職員へのフォーカスグループインタビューを通じた探索的検討—」他、実際にアドバイザーとしての実践から得られた知見や、「学生の力を活かした Student Success -ピア・サポート活動からの実践報告-」など、ピア・サポートの活動内容やそこに携わる学生の成果などを中心に発表され、参加者の皆さんと活発なディスカッションが展開されました。

企画セッション（テーマ：ポジティブ心理学にもとづく学生の強みを活かすアプローチの可能性）では、まずアカデミック・アドバイジングの多様なアプローチとして、山崎めぐみ氏（創価大学）に8つのアプローチを紹介いただき、島井哲志先生（関西福祉科学大学）に「ポジティブ心理学からの強みを活かす学生支援」の講演をいただきました。アドバイザーとしての学生との接し方は多くの担当者が一度は振り返るもので、こころのポジティブな働きに注目しその働きを活かす実践について、非常に参考となる知見を得ることができました。



「企画セッション 小林会員（司会）」



「企画セッション 山崎会員による講演」

会員によるテーマ別ワークショップでは、企画セッションでの講演を引き継ぐ形の「ポジティブ心理学を用いたアドバイジングの方法」、アドバイザーの能力開発に資する「プロとしてこのスキルだけはもっておこう！（学生が自己決定するためのロールプレイ）」、会員の実践から学びあいをめざす「取組をシェアする方法ワークショップ:持ち寄って語り合おう！」の3つのワークショップが、本協会ならではの和気あいあいとした空気の中実施されました。

「WS2 ポジティブ心理学を用いた
アドバイジングの方法」

「WS3 取組をシェアする方法ワークショップ」



年次大会終了後の、懇親会の様子♪

大会参加者に対するアンケート結果（N=16）では、皆さまに満足（満足68.8%+やや満足31.2%）と回答いただきました。自由記述では、「大きな混乱もなく、非常にスムーズに大会を運営して下さったおかげで、とても学びの多い機会になりました。本協会のあたたかい雰囲気が私は大好きですし、今回もその点がとても良かったと感じております」、「実践的だなと感じました。学びが多く大変有意義な機会になりました」、「充実した内容で、来学期のアドバイジングプランの参考になりました。24の強みについて学んだ事を活用していきたいです」、「オンライン開催でしたがスムーズな運営であっただけでなく、あたたかさやウェルカムな雰囲気に満ちていたところが素晴らしかったです」、「自由研究発表の総合討論の時間が長く、じっくり考えられる」「アカデミック・アドバイザーに焦点が当てられているので実践に対する蓄積効果が今後期待できます」など、多くの肯定的なコメントをいただきました。また、会員相互の交流（できれば対面）を願うコメントや、協会メンバーの実践を活かした企画検討への要望もいただきました。皆さまの大変貴重なご意見は、今後のより良い年次大会実施に向けて、次年度担当者に引き継いで参りたいと思います。

最後に、本大会より大会実行委員を協会内で広く公募し、有志にて開催いたしました。大会実行委員に立候補していただいた小林忠資氏（岡山理科大学）、西田祐太郎氏（立命館大学）、深谷麻未氏（立命館大学）、松本清氏（東京工業大学）、山野洋一氏（立命館大学）に心より感謝申し上げます。また、大会運営にご助言・ご協力くださった役員会の皆さま、関係各位の皆さまに改めて御礼申し上げますとともに、次年度以降の大会がより活発なものになりますよう、大会実行委員会への積極的なご参加をお願いいたします。

日本アカデミック・アドバイジング協会 第2回定期総会 議事録

日本アカデミック・アドバイジング協会では、第2回の定期総会を、第3回年次大会時に以下の通り開催しましたのでご報告します。

- (1)開催日時：2023年8月26日（土）12時00分～12時25分
- (2)開催方法：オンライン ZOOM開催
- (3)出席数：41名（理事・監事含め27名、（委任状14名））
- (4)議事内容（司会：御厨 まり子事務局長、議長：清水 栄子会長）

定刻となり、総会において司会を務める事務局長の御厨まり子が総会開会を宣言した。

また、今回の総会はオンラインで開催するとし、事前にメールで配信した総会資料についてはチャットで再配信するとともに、画面に投影しながら進行することを説明した。続いて、総会開始に先立って会長の清水栄子がコロナ禍を経た現在においてアドバイザーにはこれまで以上の能力開発が求められている。昨年度の各委員会の活動について説明後、今後会員による企画運営への参画や実践研究などの機会を提供できるような運営に努めたいと、挨拶した。

司会より、総会の議長について、会則13条第3項に定められている「総会の議長は、会長がこれを務める。」により、議事進行を清水会長が行うとした。これにより、以後の議事進行は、清水会長が行った。議長は、提案議案に関する質疑・意見は事務局の説明中にチャットで受理し、説明後に回答する方法で、議案審議のスムーズな進行をお願いした。

i) 総会の定足数について

事務局長より、本総会は、第13条5項により「総会は、個人会員の総数の2分の1以上の出席により成立」と定められており、本日の総会出席者27名、議長への委任状14名で合計41名で、会員総数の半数を超え、総会が成立することが報告された。

ii) 第1号議案「2022年度事業報告・収支決算報告」の件

事務局長より、第1号議案「2022年度事業報告・収支決算報告」について説明した後、池田輝政監事より、7月23日に秦敬治監事が、7月26日に池田監事が実施した監査の結果、事業、決算が適正であることを確認したとの報告を行った。

本件に関する質疑、意見はなく、議長が2022年度収支決算承認の件について諮ったところ、異論なく承認可決された。

iii) 2号議案「会則改正について」の件

事務局長より、第2号議案「会則改正について」修正箇所（赤字）の説明があった。今回の改正案として、第10条に「役員任期」が2年と示されており、昨年度の総会では会が軌道に乗るまで現行役員ですすめるとしてご承認をいただき、少しずつ整えてきたとの報告があり、役員選挙の準備をすすめるために、新規条文として11条に「選挙」に関する規程条文を追記し、別に日本アカデミック・アドバイジング協会選挙管理規程案が提案され、当協会の運営を円滑に推進する事を優先し、来年度改選できるように準備を整えてきている旨の報告があった。11条を新規にいれるために、第12条の役員選出、第14条の総会の条文改正の提案を行った。また、第15条の役員会については、3項を新規で追記し、「協会の事業にあたって様々なことが想定されることから必要な細則等を役員会で定めながら実施する」として改正案が提案された。第16条の部会等について、各部会が動き出しているため、今回その部会や委

委員会を規程に明示した。部会等にかかる運営に必要な細則等は部会で検討して役員会で決定し、総会に報告するという提案があった。

新規規程として、選挙管理規程について、必要最低限な10項目の条項を定め、選挙改選できる準備を進めるための規程とし来年度に改選ができるよう規程案が提案された。

提案説明後、質疑応答ののち、会則改正および、選挙管理規程について承認された。

iv) 第3号議案「2023年度事業計画・予算案」の件

事務局長より、第3号議案「2023年度事業計画・予算案」について説明があった。説明後、本件に関する質疑、意見はなかった。議長が2023年度事業計画・予算案の件について諮ったところ、異論なく承認可決された。

v) その他

議長より、総会で用意した議事について以上の3点であるが、その他会員から総会において審議することがあるか確認したところ、特に申し出はなかった。

以上を受け、議長が全ての議事の終了を宣言し、司会が12時25分に総会を閉会した。

総会后、馬本理事より、本年度の『研究誌』発行について、年次大会終了後に原稿募集を行う旨説明があり、会員からの応募を呼び掛けた。

□ 研修部会

第1回JAAAサロン：

【オンライン】 開催日時：2023年6月20日(火)18:30～19:30 参加者数：18名
テーマ：「ビギナーのためのアカデミック・アドバイジング・サロン」

2023年度第3回年次大会のテーマ別ワークショップ：

【オンライン】 開催日時：2023年8月26日(土) 16:00～17:30 参加者数：11名
テーマ：「プロとしてこのスキルだけはもっておこう！
(学生が自己決定するためのロールプレイ)」
講師：鈴木浩子(日本薬科大学)、杉田郁代(高知大学)

第2回アカデミック・アドバイジング研修会：

【オンライン】 開催日時：2023年11月11日(土) 10:00～12:00 参加者数：15名
テーマ：「アンコンシャスバイアスを知る、気づく、対処する
～一人ひとりの可能性を広げるために～」
講師：鈴木浩子(日本薬科大学)

第2回JAAAサロン：

【オンライン】 開催日時：2023年12月12日(火) 18:30～19:30 参加者数：8名
「困っていること、悩んでいること、他の参加者の方に聞きたいことなどを持ち寄り、みんなでアイデアを出し合い、実践のヒントを持ち帰ろう」

第3回アカデミック・アドバイジング研修会 実施報告 研修部会委員 福 博充(創価大学) 【対面】

日 時：2024年2月17日(土) 13:00～16:00

会 場：岩崎学園・新横浜3号館501教室

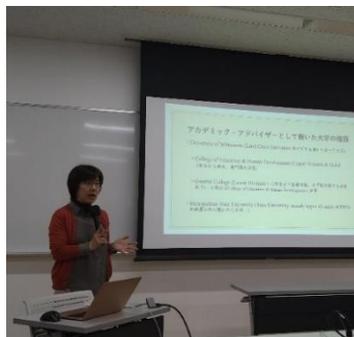
テーマ：「もう一度アカデミック・アドバイジングを考えよう!」

講師：山崎めぐみ(創価大学)

第3回の研修は「もう一度アカデミック・アドバイジングを考えよう」と題し、米国のAcademic Advisingの実践を知ることを通じて、参加者の皆さんが自身の日々の実践を「もう一度」見つめ直し、より良いアドバイジングを考える機会になればとの願いを込めて、研修部会委員6名で企画しました。

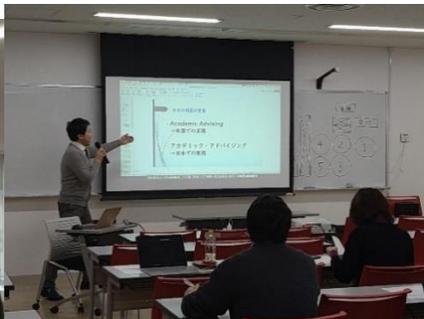
第3回研修ではまず、米国のさまざまな高等教育機関においてAcademic Advisorを務めた経験のある山崎めぐみ会員に「Academic Advisorというお仕事」と題して、自身の米国での実践をご報告いただきました。報告からAcademic Advisorとしての業務は各機関で異なりながらも、必ずそれぞれのユニバーシティやカレッジが掲げる「ミッション」(社会のために何をできるか)や「ビジョン」(～として何をやりたいか)に基づいて行われていることが報告では紹介されました。このミッション及びビジョンに基づいた米国の実践を英語表記のAcademic Advisingと捉える場合、日本でのアカデミック・アドバイジングをどのように捉えることができるのでしょうか。さまざまな業務に携わり、多様な立場の方が参加しているJAAAだからこそ、「もう一度」自身の実践を所属組織のミッションやビジョンと関連付けながら見直し、より良い自身の(あるいは自身の所属機関の)アカデミック・アドバイジングを考える機会にしたいとの思いがありました。

また、今回の研修は、初の対面開催だったこともあり、参加者同士で活発に意見交換が多くできるような研修会にしたいとの思いもありました。そうした思いに応えてくれるように、事後のアンケートには「グループワークに多くの時間が割かれていて、主体的に参加することができた」「他大学の例から、まだまだ取り組めることがあることが見えた」などの感想がありました。参加者の皆さん一人ひとりが真摯に取り組み、研修を盛り上げてくださったゆえだと考えております。本当にありがとうございました。



第3回講師 山崎会員

グループワークの様子



ファシリテーター 福会員

<< アカデミック・アドバイザー・デスク紹介 >> 岡山理科大学

野間川内 一樹 (岡山理科大学)

岡山理科大学のアカデミック・アドバイザー・デスク (AAD) は、教育推進機構教育開発センターにより2021年度に設置され、同年4月より活動を開始しました。2021年度当初は教員1名とアルバイト学生スタッフで運営していましたが、同年9月には教員が1名増員され、現在は教員2名とアルバイト学生スタッフで運営しています。設置場所は学内で最も学生の目につきやすいコモンルーム内の一角となっています。そのため、常に学生が勉強や談笑する環境の中で気軽に相談できる雰囲気となっています。

AADの活動時間は平日10:00~17:00となっており、主な活動として①生活に関する悩みや課題に関する相談、②学生に関するチューターの先生方や職員の方からの相談、③必修科目の連続欠席学生のチューター教員への共有、④客観テスト未受検者の対応や資料の配付、⑤Wi-Fiやパソコンに関する相談、⑥課題の提出方法など学業に関する相談、⑦就活のエントリーシートや面接練習の対応、⑧アルバイトの履歴書や面接の練習の対応、⑨不登校学生本人並びに保証人 (親) の対応、⑩目標達成シート (マンダラチャート) 活用ゼミの実施等を行っています。AADカウンターには、常に教員と学生スタッフが待機しており、Wi-Fi接続や様々な手続きに関する相談等学生スタッフが対応可能な内容については、学生スタッフが対応し、学生に関する教員や職員からの相談や保証人からの相談、連続欠席学生の情報共有、不登校学生対応等責任を伴う内容については、教員が対応しています。また、健康に関する内容や奨学金に関する内容、ハラスメントや事件性を伴う内容については、常に専門部署と情報を共有のうえ対応にあたっています。

当初は学内での認知度が低く2021年度の対応件数は1,447件でしたが、学内でのポスター掲示、各教授会や大学運営会議での活動報告、学内の教職員との連携を進めていった結果、2022年度は4,186件に増加しました。2023年度は教育開発センターが4月~5月にかけてWi-Fiやパソコンに関する専用の相談窓口を新たに設置したこと等により、4月~2月の対応件数は3,287件となっています。今後は、教職員との連携を強化し、学業に課題を抱える学生や心理的に負担を抱える学生の早期発見と対応と、目標達成シート活用ゼミにより、大学生生活をより充実させるための活動に注力していきたいと考えています。



アカデミック・アドバイザー・デスク (AAD)前での野間川内会員



担当教員と学生スタッフ

協会誌『アカデミック・アドバイジング研究』第2号発刊予定

JAAA編集委員会

『アカデミック・アドバイジング研究』第2号 (Journal of Academic Advising in Japan, No.2) は、2024年3月末にWeb上で発行します。

JAAA会員への先行発行としております (近日中に、閲覧のためのパスワードをメールでお送りします)。第2号の発行にあたり、投稿者ならびに編集協力者の皆さまにお礼を申し上げます。

<<掲示板>>

1) 会費納入のお願い

2023年度の会費 (3,000円) が未納な方は、必ず3月末日までにお支払いください。お振込みの際には、お名前の前に会員番号を記載してください。

なお、2024年度は役員改選年度となりますため、3月末日までに会費納入が確認とれませんと役員選挙改選の被選挙人となりませんのでご了承ください。

- =====
- ゆうちょ銀行【記号】11390【番号】16649071
 - 他の金融機関からの振込みをされる場合
株式会社ゆうちょ銀行【店名】一三八 (読み イチサンハチ)
【金融機関コード】9900【店番】138
【預金種目】普通預金、【口座番号】1664907
 - こくちーずからのお振込は下記URLよりお願いします。
<https://kokc.jp/e/jaaa20240331/>
- =====

2) 所属先・住所等の変更連絡のお願い

お届けの所属先や住所などに変更がある場合は、事務局までお知らせください。

3) また退会を希望される場合は、学会HP「協会について」の「個人会員 退会届」をダウンロードいただき、退会理由を明記の上、JAAA事務局までご連絡をお願いいたします。

4) JAAA会員募集チラシを作成しています！

~~~広報部会~~~

JAAA会員募集チラシを学生に依頼して作成しました。作成者は、大阪経済大学人間科学部3年榎木さんです。今後、JAAA HPの「会員募集中!」からチラシをダウンロードできるよう、準備をすすめています。ご活用ください。



<編集後記>

レターNo. 4から大変お待たせをして申し訳ありません。また、この号に年度末の大変お忙しい中、原稿依頼に快くお引き受けいただいた会員の皆さま、誠に有難うございました。今年度は、後1回発行予定でしたが、次年度は目標達成するよう広報活動に励みます。さて、第3回の対面で実施された研修会に私も参加して参りました。オンラインでしかお会いしたことの無い関東の会員の皆さまとお会いでき、充実した時間を過ごすことができました。冒頭清水会長から次年度の年次大会が対面で実施予定とのことを述べられていました、大変楽しみです。皆さまも是非ご参加ください。(編集担当: 田中)